

小林康宏先生退職記念号に寄せて

経済学部長 岡村 勝義

小林康宏先生は、2016年3月31日付で神奈川大学を定年退職され、同年4月1日付で本学名誉教授とされました。

先生は戦後の最初の世代であり、中央大学大学院に進学され岩田巖雄、中村常次郎両先生のもとで経営財務論・経営学を専攻されました。大学院の後、松商学園短期大学に奉職され、そこで10年ほど教鞭をとられた後、1986年に本学経済学部の助教授として着任されました。それ以来、専任教員として30年の長きにわたり経済学部での教育と研究に携わってこられました。

先生は、自己金融論の研究から出発し、多国籍企業の財務行動を解明することを課題として国際経営財務論の研究に進み、その研究領域において多くの研究成果を公表されています。先生の専門分野は国際経営財務論といえますが、本誌本号に掲載の研究業績一覧において、先生の精力的な研究成果の全容を見て取ることができます。なかでも、先生が定年を迎える年の2016年3月に上梓した『国際経営財務の研究—多国籍企業の財務戦略—』（税務経理協会）は、約40年にわたる先生の研究の集大成といえるものです。この著書は、学界への顕著な学術的貢献があったと高い評価の受け、第2回日本財務管理学会において学会賞（著書の部）を受賞されておられます。

先生は、講義やゼミナール等において学生の教育に熱心に取り組まれてこられ、数多くの卒業生を社会に送り出してこられました。講義方法等を工夫し「学生にとってわかりやすい講義」を行ってきた等の教育貢献により、2015年度の本学のベストティーチャー賞を受賞されております。

先生は、研究および教育の領域だけでなく、大学や学部運営の面でも大きな貢献をされてこられました。評議会評議員や経済学研究科委員会委員長の要職に就かれ、また、経済学部の学科主任を10年有余も就かれ、本学および経済学部の発展に大きく寄与されてこられました。

今後もご自愛なされ、ますますご活躍なさいますよう心からお祈り申し上げます。